

病院ボランティアの会

てごっつ人だより

No.26
発行責任者
総務課 土江 剛
H28年10月発行

朝晩の冷え込みが一段と厳しくなってきました、てごっつ人の皆さまには正面玄関での介助ボランティアをはじめ様々な活動にご協力いただき、ありがとうございます。

今回のごっ人だよりは6月の組合ユース部合同美化作業・てごっ人総会、7月の七夕コンサート、8月の七夕笹飾り・大東高校生の介助ボランティア、9月の第6回雲南病院病院祭をご紹介します。

6月 組合ユース部合同美化作業

6月25日(土)の作業は職員組合ユース部(男性35歳、女性30歳以下の組合員で構成された部)と合同で長椅子清掃・大浴室清掃・車椅子点検清掃・病院西側の草刈り・正面玄関の芝生剪定作業を行いました。

作業終了後には参加者が集まって昼食会を開催しました。昼食会ではボランティアの方から暮らしのこと、病院に対する思いなど、様々な意見を聞かせて頂き、若い世代の職員にとって大変勉強になりました。



6月 てごっ人総会

6月17日(金)に大東交流センターで「H28年度雲南市立病院ボランティアの会総会」が行われました。

総会には病院ボランティアの皆さんと病院職員の総勢30名が参加して、事業報告、事業計画などについて話し合いました。また、病院からは新棟建設状況について説明させていただきました。

ました。役員を選任においては、石川会長・小山副会長が引き続き務められる事となりました。今年度もよろしくお願ひいたします。



7月 セタコンサート

7月6日(月)の活動は七夕コンサートの準備を行いました。てごっ人の皆さんには、舞台設営やコンサートでの患者さんの送迎にご協力いただき、ありがとうございます。

当日には、大勢の患者さんやご家族の方が聴きにいられ、合唱や楽器の演奏、会場全員で歌うコーナーなど、会場が一体となった心地のよいひとときとなりました。

患者さんには、短冊に願ひ事を書いていただき、笹に飾り付け、会場を七夕らしい雰囲気にする事が出来ました。



8月 セタ大笹・スイカ提灯飾り

8月1日(月)、病院ボランティアアさんと大東高校の学生さんが、ボランティア活動として笹飾りと西瓜提灯の飾りつけ作業をしていただきました。暑い中でしたが、みなさん真剣に取り組んでいただきました。



大東高校生の介助ボランティア

平成28年7月25日から8月18日の間、大東高校の生徒さんが、介助ボランティアに参加してくれました。これは、学生さんが患者さんとの交流を通して、介助の仕方や関わり方を学び、ボランティア活動を通して、地域社会の中での自分の役割について考えることを目的としています。

たくさんの来院者さんがお見えになる中、生徒さん一人一人が真剣な眼差しで患者さんと向かい合っている姿が印象的でした。今回の体験が、将来の自分の役割を考える上で役立つことを期待しています。



9月 第六回雲南病院病院祭

9月3日土曜日、第6回目病院祭を開催しました。今年は「笑う顔には福来る！」笑顔が運ぶ健康なくらし」をテーマに、院内外のスタッフによる手作りの催し物を行い、総勢400名以上の方が来場してくださいました。

オープニングセレモニーでは、恒例となる院内保育所「ほたるキッズ」の子どもたちが登場し、元気なお遊戯を披露してくれました。

それに続き、今回は春雨や落雷氏による古典落語と、「笑い免疫・そして健康」をテーマにした医学講話を笑いを変えてご講演いただきました。笑いの不思議な力について面白おかしく語っていただき、会場全体が大いに盛り上がりま



午後の部では、たかはし音楽教室 M-kids による歌と演奏の発表会が行われました。それに続き、「おしゃべりエンターテイナー ゆーき」氏による、「マジックと腹話術を交えた「くすくすとエンターテイメント」」が行われました。会場全体が盛り上がった空気の中、職員有志によるサウスクラウドアンサンブルによるコンサート発表会と、毎年恒例となります病院職員・ボランティアによる安来節ショーが開かれました。



安来節ショーでは看護師等による銭太鼓、医師チームによるどじょうすくい踊りなどで、会場は大いに沸き上がりました。

展示コーナーでは、病院ボランティアの活動紹介と大東地区自治振興協議会の丸子山の保全活動などを展示しました。また今年も三刀屋高校から雲南病院に医療現場体験として参加した学生の学びの報告も展示しました。他にも、新病院建設現場の見学を行えるよう5階作業療法室を開放し、多くの見学者が来院されました。

今回の病院祭では、ご来場いただいた皆さんと会場で一体感を感じることができ、病院と地域とのつながりを強く感じました。「地域に親しまれ、信頼され、愛される病院」の理念を忘れずに、今後も地域の皆さんとこのまちでともに生き、地域医療を守っていききたいと思えます。

